

# 第3章 大学入試について

## 1. 大学入試の種類

### 1 入試方式で分けた場合

(1) 一般入試—学力試験で合否を判定。

入試は1月中旬のセンター試験から始まり、2月～3月に各大学の試験が行われる。

(2) 推薦入試・AO入試—小論文や面接などで主に人物評価をする。

推薦入試は10月頃から、AO入試は8月頃から始まる。

### 2 国立・公立・私立のタイプで分けた場合

#### (1) 国立大学 — 5教科7科目が大半

①原則「センター試験+個別試験」で合否を判定。

②センター試験は5教科7科目を課す大学が多く、幅広い学習が必要。

③入試日は「前期」「後期」の2回で、各大学で同一日程。

④国立大学の併願は出来ないため、受験チャンスは2回と考える。

#### (2) 公立大学 — 3教科3科目～5教科7科目など

①国立と同様、原則「センター試験+個別試験」で合否を判定。

②5教科7科目を必要とする公立大学は全募集人員の2割程度。

③独自の教科数・科目数を課す場合が多い。

③国立大学と別日程で入試を行う場合もある (◎高崎経済大学・国際教養大学など)。

④国立+公立の受験併願パターンで受験チャンスを増やすことが可能。

#### (3) 私立大学 — 2教科～3教科が中心

①教科・科目を絞った学習で受験可能。

②難関大学の場合は受験倍率が高い。

③「個別入試」(その大学で受ける)、「センター利用入試」(センター試験の得点で合否判定)、「併用」(個別+センターで合否判定)等、大学独自方式・日程をしっかりと調べて出願。

## 2. 平成30年度 大学入試スケジュール

2017.10月現在

	国公立大学		私立大学 短期大学
	分離・分割方式	中期日程(公立大学のみ)	
2018年 7月	7月31日まで	選抜要項(日程・定員・出題科目・時間・配点など)発表	
9月	9月上旬	大学入試センター試験 受験案内配付	AO入試
	～10月上旬	大学入試センター試験 検定料等払込	
10月	～10月上旬	大学入試センター試験 出願	
11月			推薦入試
12月	15日まで	募集要項発表	
2019年 1月	1月19・20日	大学入試センター試験(本試験)	出願
	19・20日	大学入試センター試験 正解等の発表	
	23日(予定)	大学入試センター試験 平均点等の中間発表	
	～25日	推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)結果発表	
	25日(予定)	大学入試センター試験 得点調整実施の有無の発表	
	26・27日	大学入試センター試験(追試験・再試験)	
	28日～2月6日	2次(個別)試験 出願	
2月	2月7日(予定)	大学入試センター試験 平均点等の最終発表	一般入試(2月)
	～13日	推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表	
	～13日	第1段階選抜の結果発表(前期)	
	～19日	推薦入試・AO入試合格者の入学手続	
	25日～	前期日程試験	
	～28日	第1段階選抜の結果発表(後期)	
3月	3月1日～10日 (国立は6日～)	合格発表	合格発表・入学手続
	～15日	入学手続	
	12日～	後期日程試験	
	20日～24日	合格発表	
	～27日	入学手続	
	28日～	追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験	
	～31日	入学手続(第2次締切)	
4月	4月16日(予定)	大学入試センター試験 成績の本人開示	一般入試(3月)

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学のAO入試は夏以降、年間を通じて実施されています(原則8月1日以降出願スタート)。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

### 3. 大学入試センター試験（全国公立大学と私立大学の約9割が利用）

平成31年度入学者用 1日目→1月19日(土) 2日目→1月20日(日)

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (→注1, 2)
平成 31 年 1 月 19 日(土)	地理歴史 公 民	「世界史 A」 「世界史 B」 「日本史 A」 「日本史 B」 「地理 A」 「地理 B」 「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理, 政治・経済」	2 科目受験 9:30～11:40 (→注3) 1 科目受験 10:40～11:40 (→注3)
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	【筆記】 15:10～16:30 【リスニング】 「英語」のみ 17:10～18:10
1 月 20 日(日)	理 科 ①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	9:30～10:30 (→注4)
	数 学 ①	「数学 I」 「数学 I・数学 A」	11:20～12:20
	数 学 ②	「数学 II」 「数学 II・数学 B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	13:40～14:40
	理 科 ②	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	2 科目受験 15:30～17:40 (→注3) 1 科目受験 16:40～17:40 (→注3)

(注1) 試験室への入室終了時刻については、受験票 とともに送付する受験上の注意において指示します。

(注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:10) までに入室していない場合は受験することができません。

(注3) 「地理歴史, 公民」及び「理科②」については、登録した科目数 (1 科目又は 2 科目) によって試験開始時刻が異なります。「2 科目受験する」と登録した場合は、試験当日に 1 科目のみを受験する (1 科目だけ受験を取りやめる) ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度 (「地理歴史, 公民」は 9:50, 「理科②」は 15:50) までに入室しないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第 1 解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。

なお、第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は、トイレ等で一時退室することはできません。

(注4) 「理科①」は試験時間 60 分で必ず 2 科目を選択解答してください。1 科目のみの受験は認めません。

## 4. 国公立大学の入試について（一般入試）

### (1) 一般的な受験形式

①センター試験（1次試験にあたる）・・・1月（全国一斉・同一問題・全問マークシート）

+

②各大学の個別試験（2次試験にあたる）・・・2月・3月（各大学で科目数・内容異なる）

//

①+②の合計点で合否を決定

（ただし①センター試験の結果によっては②個別試験に進めない「二段階選抜」の大学もあり要注意）

### (2) センター試験の自己採点から個別試験の出願へ

- ①自分の解答を問題用紙に控えておき、新聞・予備校等発表の正解・配点に基づき自己採点
- ②自己採点結果によって、国公立大学の出願を決定する（判断基準は予備校のリサーチ結果）
- ③担任・進路指導部との面談で出願先を決定
- ④個別試験の出願時期—1月28日（月）～2月6日（水）

### (3) 個別試験（2次試験）の特徴と日程

- ①1科目～3科目を課す大学が多い。
- ②難関大学では4科目を課す場合もある。
- ③前期試験で合格した場合は、後期や中期を受験できない（合格者とならない）。
- ④前期—2月25日～
- ⑤中期—3月8日～（一部の公立大学）←この中期日程を受けることで受験機会が増える！
- ⑥後期—3月12日～（↑◎ 高崎経済大学など）

### (4) 配点パターンを熟知して戦略を練る

①センター試験重視タイプ→センターで有利に立つ戦略+2次で逆転は難しい（後期にも多い型）

埼玉大学・教養学部（前期）—センター7科目 900点+2次英語 300点=1200点満点

東京外国語大学・国際社会学部（後期）—センター3科目 500点+2次英語 200点=700点満点

②バランス型→センターも2次も気が抜けない

東京農工大学・工・生命工学（前期）—センター7科目 650点+2次3科目 650点=1300点満点

③2次試験重視タイプ→センター得点を圧縮+2次配点が高い（難関大学に多い型）

お茶の水女子・理学部・数学科（前期）—センター7科目 225点+2次3科目 500点=725点満点

一橋大学・社会学部（前期）—センター7科目 180点+2次4科目 820点=1000点満点

### (5) 3月の後期試験まで粘り続ける重要性

- ①まず「前期試験」（2/25～）で合格することを目指して学習を進める。
- ②「後期試験」（3/12～）も定員の約20%前後を募集している。
- ③よって、「後期試験」の最後まで粘り強くチャレンジすることを強く勧める。

## 5. 私立大学の入試について (一般入試)

### (1) 入試科目 (2科目~3科目が主流)

- ①文系型 — 英語・国語・【地歴・公民・数学から1科目】が主流
- ②理系型 — 英語・数学・理科 が主流

### (2) 入試方式の種類

- ①個別方式 — 主流の入試方式。大学が独自に用意した試験科目で受験 (会場はその大学で)
- ②センター利用方式 — センター試験の得点のみで合否判定 (会場に行かなくて良い)
- ③併用方式 (上記①+②の形式) — ㊦ 早稲田大学スポーツ科学部など

### (3) 入試制度の種類

- ①学部別入試 — 各学部が指定した日に受験を行う。一般的な入試制度。
- ②全学部入試 — 全部の学部や複数の学部の入試が、同一日に共通問題で行われる。  
そのため、1回の受験で複数学部に併願できる大学が多い。
- ③試験日自由選択制 — 同一学部学科で設定された複数試験日から自由に選んで受験。
- ④学外試験会場 (地方会場入試) — 地元試験会場が設けられれば遠隔地大学でも受験便利  
(㊦ 秋田県の国際教養大学は東京都で試験を行う)

### (4) その他 (実施は各大学の要項を参照)

- ①奨学生入試 — 入試で成績上位に入ると授業料や入学金などが減免される。
- ②受験料割引 — 同じ大学内で複数出願すると、受験料が割引される。